

【アンケート項目】

- ①本校の実践研究の取組について、ご意見をお聞かせ下さい。
- ②本校の生徒の姿を見ていただいてのご感想をお聞かせ下さい。
- ③その他お気づきの点がありましたらご自由にお書き下さい。

①本校の実践研究の取組について、ご意見をお聞かせ下さい。【教科別に集計】

【国語科】

- 「伝え合う力」を高めていこうというビジョンが非常に明快で、様々な授業や活動行事が有機的に結びつけられているのが、とても素晴らしいと思いました。評価方法についても、現実の授業に密着したわかりやすいものになっており、大変参考になりました。
- 継続して「国語力」「伝え合う力」をキーワードに全教職員で取り組んでみえたことに改めて敬意を表したいと思います。うらやましくも感じています。この 2 年間衣笠中学校の取組から、たくさんのことを学ばせて頂きました。「個と個をつなぐ」という着眼点が素晴らしいと昨年度から感じておりました。が、その段階での「表す力」のとらえ方が少し気になります。そこでこそ各教科の独自性が発揮できるということでしたが、（確かにそうだと思うのですが、）国語力を中核にする以上、表現の媒介はあくまでも「ことば」なのではないかと感じるのです。社会がグラフ、音楽が音というような例をあげられましたが、どの教科でも考え、想像し、まとめていくために、ことばを運用しているというスタンスでいいのではないかと感じてしまうのです。
- 昨年度に続いて本年度も参加しましたが、国語力向上を国語科だけのものにとらえず、全教科、領域で実践・研究されていることが素晴らしいと思います。今村先生の授業、「伝え合う力」を「話す・聞く」活動に限定してしまう実践が多い中、「読む・書く」も重視した授業だと感服しました。（バランスがとれていますね。）大いに参考になりました。よい勉強をさせて頂きました。今村先生の話の中にあつた、「国語で培えるのは『帰納的論理』だけではないか。」大胆な発言ですね。確かに、説明文はほとんどが帰納的ですが、演繹的な文章はないと断定してしまうのはちょっと行き過ぎでは。その文章で取り扱っている内容にもよるのではないのでしょうか。この件、全体会で話題にするには難しいと思いました。まあ、中学生に作文を指導して

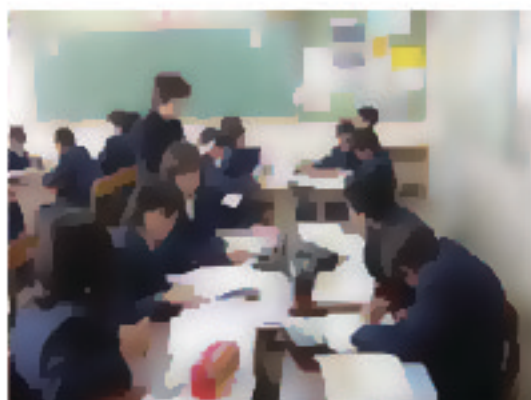


いて、「帰納的論理」の整った説明文、意見文を書かせること自体がなかなか難しい現実を振り返ると、私としても共感するのですが、今村先生の実践、昨年の授業もユニークでしたが、今年も触発されるものが多くありました。ぜひ、先生の教育実践記録や論文をご教示頂けるとうれしくおもいます。

- 全教科で取り組まれていることがよくわかりました。資料をじっくり読ませて頂きたいと思います。

- 文化審議会の答申をすべての先生方が読まれ、国語力はあらゆる場面につけるものという認識を持って具体的手だてを持って教育活動を行ってこられたことは素晴らしいと思いました。「伝え合う力」を様々な場面で育て上げるための取組をされてきたのだと感じました。

- 生徒がいろんな分野＝学校生活のみならず地域、家庭生活においても幅広い心豊かな経験をしていると感じました。これらは一朝一夕にできるものや、培われるものではない。すそ野（底辺）の広い、深いものを感じました。この校区の自然、風土、文化的環境が育てている部分も感じ、それらの大切さも感じました。心豊かな→言葉豊かな生徒の育成の取組、意識の高さを感じました。



- 1年と2年の国語の授業を見学させて頂きました。話し合いと発表、先生の寸評、生徒同士の評価など細かな段階まで行き届いた、素晴らしい授業だと思いました。発表の題材は、生徒の突拍子もない発想に耐えうるものが求められると感じました。生徒の発言に何回も笑われました。

- 国語力を学校教育課程全体で考え、身につけさせていこうとする取組はよいと感じた。その中でも「伝え合う力」を基盤とした点は学校生活全般にかかわり、これから必要な力でもあると思えるので、よい観点である。

- 学習指導要領の熟読という教師として基礎的な部分の研修からきちんとされたのが、当たり前とはいえ、抜けがちなところなのでしっかりした取組を全校教員がなされていると感じました。



- 今日はありがとうございました。（この研修会に参加するきっかけになった）研究の種は（HP掲載）国語力を人が生きる上での根本として位置づけているところに大変感銘しました。さらに、国語科での取組の興味深く、今日の授業を拝見させていただきました。ただ、最後まで「伝え合う力」の貴校での定義が明確になっていなかったのが残念です。

- 国語力向上の取組が、全教育課程で実践されている点に驚きました。“伝え合う力”に焦点をしぼり、学校生活のあらゆる場面で、その育成に努めている様子を見ることができて大変有意義でした。

- 実践研究の取組の中で様々のご苦労があったと思います。細かな研究報告もその成果と感じました。国語の中ではテーマである「伝え合う力」という部分が日々重要であると感じています。話す・伝えることにおいて、語彙を増やすことや伝え合う場を作ることが子供たちの伝え合う力に大きく影響していると思います。教師側の自己を磨くことがまた必要と感じました。

- 「国語力」という主題によって中学校の先生方が自分の教科だけでなく、他教科、領域つまり学校の教育課程作りを意識しながら、実践を反省し、想像していくイメージが持てる研究報告であったと思います。



- これだけの水準のものを全教科でされるのは大変だったと思います。お疲れ様でした。人が多くて教室での生徒の様子をしっかりと見られなかったのは残念でしたが、いろいろ参考になりました。ありがとうございました。

- 研究授業の内容が高いレベルで、大いに参考になりました。が、三年国語を参観させて頂いたが、指導案の最後まで行かれていないのが残念。まとめと授業時の評価の仕方、具体的な（基準の方の）付け方などを知りたかったです。最後の全体会ではちょっと…。

- 文化審議会の答申を受け、国語力の育成を目指し、全校で取り組まれたことは大変ご苦労もあったと思います。今後の改善を図りながら、生徒の変容について検証してもらいたいと思います。



- 研究報告は素晴らしい。ぜひ、我が市、我が校でも参考にさせて欲しい。

- 昨年も参加致しましたが、別冊子の学習指導計画及び評価計画（評価規準を含む）が今後の私の「評価」に対する研究に非常に参考になります。ありがとうございました。

- 非常に幅広い取り組みであり、このように全教職員で取り組まれたら生徒は変容するのだろうなあとしみじみ感じました。また、数多くの資料をしめして下さり、大変今後の参考になります。ありがとうございます。総合的な学習の時間と各教科・国語科との関連はよくわかりましたが、教科相互（特に国語科と他教科）の連携について、もう少し詳しく示して下さいと良かったです。

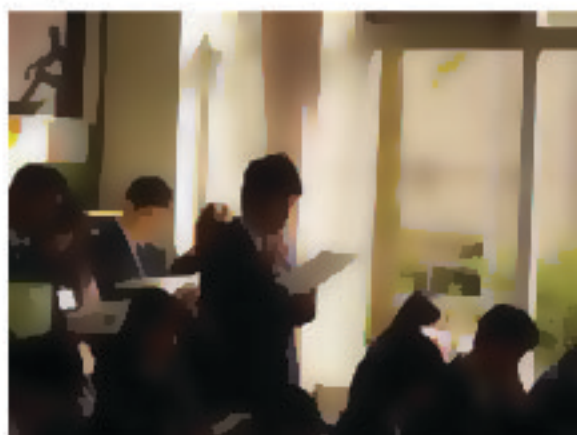
- きめ細かな研究の内容を見せていただき、頭が下がります。教職員の皆様のチームワークのたまものだと思います。文化審議会答申のとらえ方もいろいろあるのだと思いました。いろいろの視点や方向からものごとを見ることの大切さを改めて感じました。

- 「伝え合う力」を培うためにきめ細かな実践をされてきたということを見せさせていただきました。国語科を中心としてすべての学校活動の中で取組をされることで、早い段階で成果が上がっているのではないかと感じました。国語科だけでは限界があるのではと感じていましたので、参考にさせていただきたいと思います。

- 「これからの時代に求められる国語力について」文化審議会答申と国語科学習指導要領の「伝え合う力」とをうまく統合された新しい研究内容であると思います。しかし、「考える力」等については、もっと深めるべきであり、国語科においても「考える力」は十分につくのであり、最も大切な力の一つではないかと考えます。本研究のより深い進展をお祈り申し上げます。



- 幸せな社会生活を営むために他者と分かり合うことは絶対条件であると思います。分かり合うためには、言葉を使って伝え合うことが最も基本となるでしょう。伝え合うという活動は、双方向のものなので、ただ表現するだけにとどまらず、相手の言葉を理解して、応答したり、受け入れたりすることも必要だと思います。「わかってもらおう」「わかってあげよう」という視点で言葉を使って説明したり、聞いたり、読んだりすることは、言葉の力、つまり国語力を伸ばすことにつながると思いました。



- 様々な取り組み方法について紹介していただき、大変勉強になりました。ただ、まだあまり授業（国語）に生かせていないようにも思いました。
- 「国語力」というものが国語科だけで培われるものでなく、あらゆる教育活動の中で行われるものだということが全校体制で意識されている点が大変素晴らしいと思います。

目標分析もきちんと行っている点もいいと思いました。貴重な資料（よいお土産）をたくさんいただきました。

- 精力的でございました。

【社会科】



- 先生方が教科書の言葉ではなく生きた言葉で自らの口から生徒と対話することを意識なされていたように思います。それに応じて生徒たちも生き生きと授業に臨んでいたのでは内でしょうか。プリント学習や壁新聞形式を通して、表現する力、伝え合う力を図っていたように思います。

- 昨年度の発表等も見せて頂いたが、総合的な学習の時間につき、本来的な目的（私はそう解しているところであるが…）である、教科枠を超えた横断的で主体的に行うこととする事項を活かそうと工夫を凝らされた様子が伺えた。プレゼンテーションを用いて発表することなどはこれらの目的を満たした上、基本（とされる）能力を磨くことにも一役買っていると考えるところ、種々興味深いものが見られたように思う。先に挙げたプレゼンテーションを例にとると、発表、質疑応答を行うに際し、“自分の考えを周囲へ表す”ことで力を磨くものであると思う。昨年度と同じ生徒を見られたか不明であるが、進展が見えたのは、生徒が違うからだけではないように感じられた。

【数学科】



- 国語力は確かに大切であるが、それを全教科にわたって研究の素材とする点が非常に新鮮であった。

- 「伝え合う」活動をするための素地を培うために何をすればいいのでしょうか。「伝え合う力」は「伝え合う」活動をくり返さなければいけない。というのも理屈はわかりますが、実践するほど必要なことでしょうか。欲しい力なのですが、実践しづらい活動だと実感しました。



【理科】



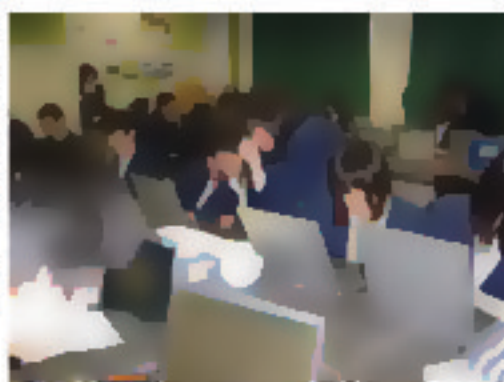
- 「伝え合う力」というのは、本当に大切な力だと思います。国語だけでなく、全教科で取り組まれたことが、やはりいろいろなお話をお聞きしていても生徒の変容へつながっていったのだと思います。教師が課題を持って取り組むことが大きく生徒を変え、力をつけていくことを改めて認識し、今後へつなげていきたいと思いました。

- 研究の最終発表会を迎えられたこと、おめでとうございます。今日までの多くの時間を使って研究を進めてこられたことが、授業を見せて頂くことでよくわかりました。どの授業も「伝え合う力」としての国語力の育成を意識され、各授業のねらいだけでなく、「国語力の育成」のねらいを併せて持って授業を進められていたのだと感じました。
- 昨年も参加しましたが、理科の授業では生徒から班員に説明する、そして、理解させる、伝える力の方法がとられており、良かったと思います。



【技術・家庭科】

- 大変素晴らしい取組を見せていただきまして、ありがとうございました。教職員の方々がたくさんおられる中で共通理解を図ることはとても大変なのではないかと思うのです。共通理解を図られて研究を進められているのは本当にすごいと思います。国語科がリーダーシップをとって取り組んでおられるのも国語力向上のためにはとても重要なことだと改めて感じました。



- 「伝える力」「伝え合う力」について国語科のみならず、全教科で取り組まれている点、すべての教科の学習で国語力の不足を感じている現状の中で、大変参考になりました。中学にとどまらず、真の「生きる力」につながることを思いました。また、教師間で「伝え合う力」について検討を重ねられた点が非常に重要であると思いました。



【英語科】

- 国語科を土台に各教科・領域・総合的な学習の時間を系統づけた取組は素晴らしいと思いました。

【総合的な学習の時間】

- 細かくわかりやすくご説明いただきありがとうございました。公開研究授業という開かれた学校を感じました。期待しておりました社会（総合的な学習の時間）とのつながりがよくわからず、残念でした。

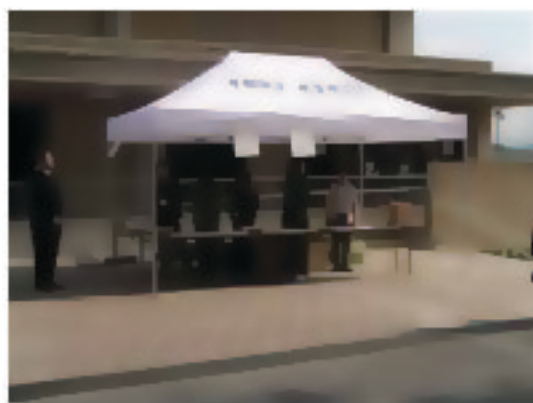


【教科無記入】



- 道徳における指導がどうなっているのかが知りたい。まさに「人として心豊かに」という部分であるのに、見あたらないのはおかしい。
- 北原校長先生の見識とリーダーシップにより、衣笠中学校が学校システムとして機能していると感じました。スクールスタンダードの本来のあり方だと思います。変わるべきは大人の方であるとい

う「仮説」の研究実践であったと思います。資料も合わせてありがとうございました。



②本校の生徒の姿を見ていただいてのご感想をお聞かせ下さい。

- 「話す、聞く」姿勢は目標を持った指導をされているせいか、身に付いているように思いました。



- 皆、明るくあいさつされる生徒さんで、大変気持ちよかったです。授業中の話し合いではよく話している生徒さんと、やや無関心な感じの生徒さんもいて、話し合いを授業に組み込むのは、いろいろと苦労が多いのではと思いました。
- 2年の国語で「書く」力が高いことに驚かされました。題材の良さだと思うのですが、楽しい発表でした。

- 2年生の「私の枕草子」の発表で、非常に感受性の鋭い生徒がたくさんいたし、それをうまく表現する力を持っている生徒もたくさんいたと感じました。清少納言にも引けをとらない、驚くようなキラリと光るものを感じました。季節の色（女子）の冬、雪の上のネコの足あとや香（女子）など、男子ではユーモアのある落ちやとらえ方と発表に感心しました。

- 1年生はあどけなく、3年生は落ち着いている印象を受けました。生徒指導上困難な生徒も一部見られましたが、一つの目標に向かってまとまりのある取組が生徒の学習する姿からも感じ取ることができました。



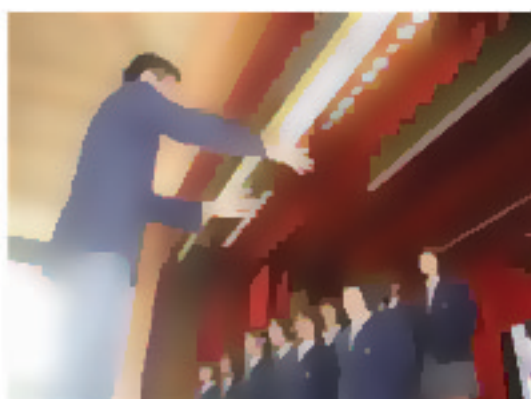
- さわやかなあいさつがとても良かったです。

- 「伝え合う力」のもと、「伝えたいこと（もの）」を子供たちが自分の意識の中に確かなものとして持つと言うことだと思います。本当は子供たちそれぞれが、「伝えたいこと」を持っているはずなのですが、それを引き出すことがなかなか難しい現状です。心の底から「伝えたい」という気持ちをわき上がらせるような教材設定や、環境づくりが大切だと考えます。生徒会活動が生き生きしていると感じるのは、「子どもたちが動いている」からなのでしょう。感動をきっかけ、キーワードにして取組を進めている市もあると聞きます。「伝え合う活動」のもと子どもたちがその気になることが大前提だと思います。



- あいさつがさわやかでした。大勢の参観者の前でも気後れなく発表や討議できることが素晴らしい。
- 学習への取組はまじめであり、指示された内容を行おうとしっかり話を聞いていたと思う。又、あいさつは、大きな声で相手にわかるようにできていて気持ちがよかったです。

- 受付等、外で待っていてくれた生徒のあいさつはよかった。授業では班別活動で仲良く活発に話をしていて、よい人間関係を築いている。来る途中、道を生徒に尋ねたところ、礼儀正しく教えてくれ、感じよかった。



- 最初の出会いは下校途中の生徒さんたちの活発なあいさつでした。よい意味で、現代的、都会的な生徒さんであると思いました。だらしない着方というのが見られなかったですね。
- 全体的に落ち着いた雰囲気を感じられました。ただ、研究授業と言うことで緊張もあったのか、やや消極的な印象も受けました。発表等の声も小さめでした。あいさつは大きな声でしてくれて、大変気持ちよかったです。

- 生徒の笑顔が非常に穏やかで良かったです。生徒会活動の子供たちの動きや話しぶりをもっと見せて頂きたいと思いました。
- 三十年ほど前の本校の卒業生として、生き生きと挨拶できる衣中生の現在の育ちを見ることが出来てうれしく思います。

- 生徒の笑顔が非常ににこやかで良かったです。生徒会活動の子供たちの動きや話しぶりをもっと見せて頂きたいと思いました。

- “挨拶” がきちんと出来る。教師に対しての 反応（応答） がしっかりしていたと感じました。

- 落ち着いた礼儀正しい様子に感心しました。今日だけでない普段からの雰囲気の良さを感じました。あいさつの言葉、自然に出ていました。



- 三年生の授業を拝見しました。生徒は明るく受容的な雰囲気の中でのびのびと活動していました。話し合いの場面でも意見の交流が活発に行われていました。学校へ来る途中、生徒の明るいあいさつもとてもうれしかったです。

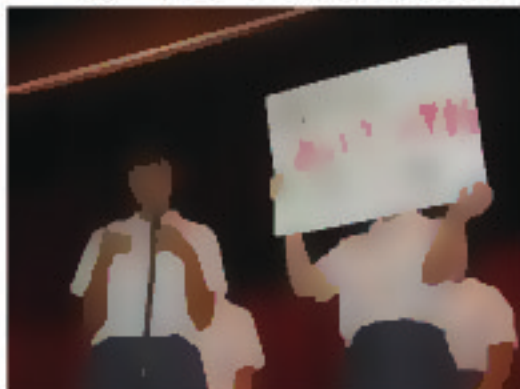
- あいさつは立派です。ただ、一年の国語の授業を参観したのですが、注意力散漫な生徒が多かったようです。学習課題等さまざまな指示を先生はわかりやすく明確にすればよいのでは。



- 生徒が校内にはいるとすぐにあいさつをしてくれ、また、誘導してくれたり、とても清々しい気持ちになりました。授業の方ですが、一年生は元気（活気）があり、二年生はいろいろ考えたことを発表し、三年生はそれぞれ論理的に討論していたところが印象的でした。

- 校門をくぐったとたんに自分から元気なあいさつをしてくれる様子に学校の心意気

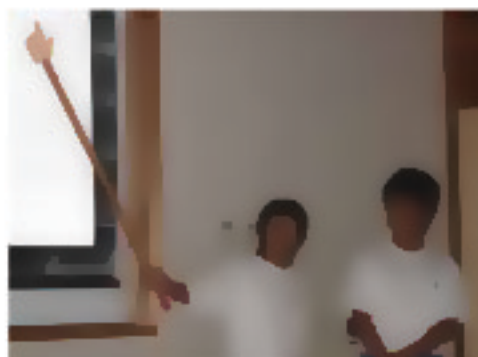
を感じました。あいさつから start したとのこと、よくわかりました。授業（三年国語）では、はじめ有る言葉遣いに日頃の指導の心配りが見られました。



- 気持ちの良いあいさつで迎えて頂き、とても清々しかったです。これも特活や日時生活の積み重ねの賜物だと思いました。
- 校門付近に立っていた生徒たちのあいさつが気持ちよく、心が洗われました。授業中の子供たちも課題に誠実に取り組み、好感が持てました。落ち着いたいい学校でした。

- 大変明るくにこやかな笑顔で迎えてもらい、さわやかな気持ちになりました。授業においても公開授業ということもあるとは思いますが、それを差し引いても課題に対して一生懸命取り組む姿が見られ、素直さを感じました。

- 授業中（三年生の国語授業を見せていただきましたが）よく考え、「伝え合う」活動を取り入れられていたと思います。ただ、表現力という面については、もっとしっかり話させることが必要かと思えます。そのためには、自分の考えを持たせるためにも、話す前に自分の考えを「書く」活動が大切かと思えます。



- 三年生の国語の授業を参観させていただきました。先生の意図をくんで、授業を進めようとする子どもが多いと思いました。となりと、また四人で話し合う方法についてはあまり慣れていないのかなと思いました。話し合いの方法について、一年生のうちから繰り返してトレーニングが必要であると思いました。

- 本校の生徒と同じように思いました。研究授業に慣れているようにも。
- こちらに到着した際に気持ちの良いあいさつを生徒さんがしてくれました。三年生の授業を見せていただきましたが、とても落ち着いた雰囲気でした（もちろん気になる生徒もいましたが…）。学級づくりがうまくいっているのだなあと感じました。
- 門をくぐった時から積極的に「こんにちは」とあいさつをしてくれたことがとても気持ちがいいもので、一期一会の大切さを自然に身につけているように感じました。



- 校内に入ってきてから案内役の生徒だけでなく、帰り際の生徒（一部）も「さようなら」や「こんにちは」と挨拶してくれた。自分の学生時代を思えば、気恥ずかしさだけが先行し、来訪者に会釈する程度であったが、される側からすれば、きっちり挨拶してくれることがこれほど気持ちよく爽快にさせるものなのかと感じさせられた。
- 服装が整っている（素直な感想です）。生徒会活動がおとなしい（ビデオを見て）と思いました。もっと創造的な活動が出来る素地が十分あるのではと思います。



ちも生き生きと意見交換をしていました。ただ、班の代表だけが発表していた班もあり、何らかの形で発表できるように班内でうまく分担していよう指導した方がいいのではないかと思います。

- 礼儀正しく、疑問点をとまどうことなく発言できる生徒が多いと感じました。
- 総合的な学習の時間三年の発表の参観をさせて頂きました。発表というと、ともすると「発表する人」「聞く人」というだけになってしまいがちですが、発表者への質問がその都度されて、「伝え合う」ということがしっかりされていると思いました。生徒たちも生き生きと意見交換をしていました。ただ、班の代表だけが発表していた班もあり、何らかの形で発表できるように班内でうまく分担していよう指導した方がいいのではないかと思います。
- 現在、どの学校でも生活指導上の課題を抱えています。貴校でも、同様ではないかと思いますが、「総合」の授業（三年）でも、発表する生徒に対する生徒の質問の鋭さを感じました。発表させるだけでなく、次の step として、聞く、考えるそして不明な点をさらに調べる（再構築する）こともできないといけないと感じました。
- 挨拶も出来ていて、素直に前向きな感じがしました。

- とても明るく元気がいいなというのが最初に感じた印象です。授業も大勢の参観者がいる中で堂々とした感じで受けこたえてきていたと思います。

- 落ち着いた素直な様子を感じました。自分の考え、気持ちを言葉に出し、語り合う中で、生徒自身が高められていると思います。道徳の話題も出ましたが、この取組の中で更に広がっていくものと感じました。



- しっかり挨拶が出来、ご指導のあとがうかがえます。生徒さんのバラツキが多いという印象をもっておりますが、受付や案内に出られている生徒さんの印象が強く、研究授業でも悪い印象は持ちませんでした。
- あいさつをしてくれる生徒も多く、中学生らしい雰囲気があった。

- 人なつこく、とても親切でした。「聞く力」ももっと指導が必要だと思う。聞いていない中で、先生が大声で説明されてももったいない。
- あいさつをしたとき、気持ちよくあいさつを返してくれる生徒が多かったのが印象的です。「三年総合」の教室に入らせていただきましたが、テーマである「伝え合う力」を意識している生徒の姿を確認できました。自然なコミュニケーションが成立していたと思いますし、指導者の意図も明確でした。

③その他お気づきの点がありましたらご自由にお書き下さい。

- 国語力向上のために、全校で協力し合っている様子がよくわかり、とても感銘を受けました。当日はいろいろと心を配って頂き、誠にありがとうございました。
- 今回、国語しか見学できず、他教科の取組を拝見できなかったのが残念です。文化審答申説明を聞きに行ったときはあまりの抽象的な内容に驚きましたが、貴校のような学校内の全活動への取り入れは大変勉強になりました。



- まず教師の意識が高まり、生徒の意識、意欲を高めることへつなげていく研修（意志統一）の大切さ、学習環境、配布物や掲示物による意欲、意識の喚起の大切さ、徹底・すべて、教育はつまるところ、自分自身がどれだけ自分を大切にできているか、されているかの（気持ち・意識）にかかわることである。どれだけ個を大切にしているかが原点であると思った。

- 授業の中で、国語力=伝え合う力を付けていくことの必然性（必要性）を生徒にどう理解させていくのか。今日の1、2年生の授業ではこれが生徒の心に落ちていなかったために、班での話し合いが、伝え合うではなくただの発表や考えをしゃべる（伝達する）だけになってしまったのではないか。



- 偶然にも学校長からお話がありましたが、生徒に「伝え合う力」をつけようとするとき、大人、とりわけ教師がその力をつけておくべきであると言うことを私も痛感しています。教師が表情豊かに、伝えたい内容を的確に伝えることができれば、自然に子供たちは見本としてくれるはずだと……。衣笠中学校では先生方の「伝え合う力」を高めるために何か工夫されてきたのでしょうか？そのあたり（先生方の取組としての）のお話も聞かせて頂きたかったです。実はそのこと自体が教科指導における意識化、日常化につながるのかもしれないと思ったりもします。昨年度お願いした封筒の改善、八つの意識が取り入れられたことも、本当にありがとうございます。



- 最近の中学生（小学生でも）は筆記員の持ち方（選択も）にくせがあり、そのことが乱雑な文字や筆記の遅さ、書くことを面倒がることにつながっていると思います。中学生に徹底させることは困難ですが、せめて国語の授業では鉛筆を用いることを奨励すべきだと思いました。

- 指導案の形式がいろいろで、少し見にくかったと思います。今日の授業の中で「伝え合う力」をどのようにつけようとしているのかが、一目見てわかるようにして頂けるとよかったですと思います。班別の学習も多かったようですが、話し合いの内容をどのように評価するかなども示して頂きたかったと思います。



- p5に「個に応じた指導の充実」とあるが、具体的にどのような手だてをしているのかがもう少しみえるとよいと感じた。評価計画をいただいたので参考なさせていただきたい。いろいろありがとうございました。
- 総合的な学習を副担任の先生がされていたので、素晴らしいと思いました。指導者側の組織力が高いと感じました。

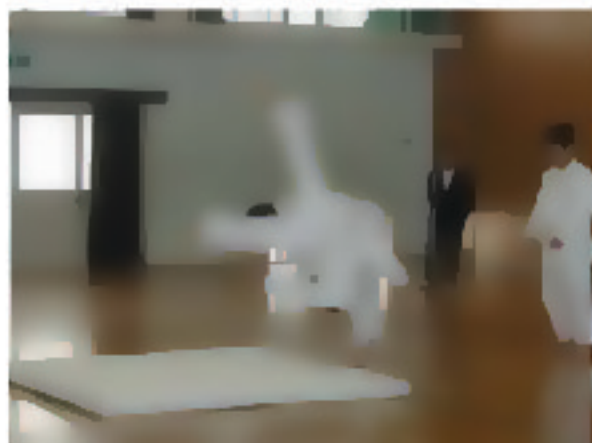
- 公開授業の最後 10 分間ほど育成学級の授業を参観させていただきました。二人の女生徒が発表をしていましたが、一人の生徒がもう一人の生徒をさりげなくサポートしている姿が見られました。その自然な振る舞いからは担当されている先生方の普段からの温かいご指導が感じ取れました。

- 研究冊子に「評価規準」とそれに対応する生徒の作品例が資料として掲載されていれば、さらにわかりやすい内容になると思います。

- 述べ方を学ぶ等の授業など興味をもちました。評価の部分についてもそうですが、生徒の変化の部分がさらにわかると良かったです。道徳など自分の考えを伝える部分などの指導はどのようにしているのでしょうか。



- たくさんの資料をいただきました。参考にさせていただきます。その他、細やかな配慮（おもてなし）をいただき、ありがとうございました。
- シンポの問題提起の時間が少し長かったですが、定刻に終わって良かったです。飯野先生は体育科か社会の先生とお見受けしましたが、違いますか？研究とは関係有りませんが、みなさまありがとうございました。参考にして本校の実践につなげたいです。
- コーヒー等を用意してくださり、学校側の柔軟な対応に「うるおい」というものを感じた。
- 全体的に校内がキレイに清掃されていますね。また、階段等の生徒の活動の様子が掲示してあり、興味をもって見させて頂きました。
- 会の持ち方として、公開授業が多かったので2時間の授業参観にさせていただけたらよかったなあ…と思いました。また、国語の取組についてももっと詳しく聞きたかったので、授業後はテーマ別の分科会にいただいた方が深まった内容になったのではないかと感じました。今村先生にまた個人的にご質問したいことがありますので、またメールさせて下さい。



- 学習者の視点に立った授業、一人ひとりの生徒の歩みにふれる授業、そんな授業ができるように、私も研究を続けたいと思っています。
- あいさつは「伝え合う力」の基本だと思います。そのあいさつが自然にかつしっかりできるというのは、「伝え合う力」の基盤が出来ているということだと感じました。本校でも実践していきたいです。

- 現段階での指導要領と新しい答申の両方を取り入れられたよく考えられた実践かと思えます。これを基に、今後の研究の発展をお祈り申し上げます。
- 今村先生がおっしゃっていた国語の授業では「意識化」を図るということが印象に残りました。意識化を図るためといっても、より生活に近い必要感のある題材、教材を考えることが大切だろうなと思います。単にトレーニングだけではいけないのでしょうか。ありがとうございました。



- ありがとうございました。今日の授業・報告を参考にさせていただき、自分の実践に生かしたいです。休憩中に提出した質問の解答はどうなったのでしょうか。少し答えていただいたと思いますが、もう少し教えていただきたかったです。

- ご苦労様でした。でも、全体会の場で居眠りされている衣笠中の先生の姿は興ざめです。疲れもたまりますが、お互いに頑張りましょうよ。ワークシートやアンケート類は本校でも活用させていただきたいと思います。「被服質」(会場図)とか誤字・脱字多いです。



- シンポジウムという形式をされた点、とても参考になりました。(スクリーンの文字がやや小さくて見づらいときがありました…)。

- 今後の展開として個と社会のつながりをいかに具体的にしていくかにあると思います。

ると思いますが、例えば新聞・テレビなど諸メディア機関を通して“自分たちの活動を社会に知ってもらおう”社会評価(オーセンティック アセスメント)を実感させるのも良いのではと思います。新聞に自分のことが載ったことで新聞を身近なものと感じ、読む習慣が付くかもしれません。素晴らしい報告会、ありがとうございました。

- 人間は母国語を媒体として思考をまとめるようですが、社会科におけるグラフ等の表現、美術の絵画も「国語力」になるのかは疑問です。



- ひとりひとりの先生方が相当量の作業をされたであろうことがうかがい知れ、感動しました。

- 掲示物(生活だより?)のすばらしさが目をひきました。掃除ができています。2足制であろうと思いますが、きれいですね。全クラスの公開授業でも良かったのではないのでしょうか。ご苦労様でした。ありがとうございました。

- 今日の研究報告会に参加できて本当に良かったと思います。

私の学校も国語力向上推進校として2年間研究を進めてきましたが、なかなか思うように成果が出せなかったというのが実際のところです。衣笠中学校のお取り組み、とても参考になりました。ありがとうございました。

- 永年、民間企業で人事・労務・採用・教育の仕事をしており、社会で必要な人材という視点で現在学校教育にかかわっております。学校サイドの取組のご苦労がよくわかり、勉強になりました。ありがとうございました。コメンテーターの方々の方々に驚きました。





多くのご意見・ご感想ありがとうございました。頂戴したご意見・ご感想は、今後の教育実践に活かしてまいります。今後ともよろしく願いいたします。